

「元気発進！子どもプラン」事業評価票（平成23年度実績評価）

| | | | | | | | | | |
|-----|-----------------|-----------|----|-----------|----|------|---------------------|-----|--------|
| 事業名 | 子ども・家庭相談コーナーの運営 | | | | | | 掲載ページ | | |
| | | | | | | | 161 | | |
| コスト | 事業費 | 平成23年度執行額 | | 平成24年度予算額 | | 政策分野 | 特別な支援を要する子どもや家庭への支援 | 担当局 | 子ども家庭局 |
| | | 89,255 | 千円 | 87,202 | 千円 | 施策名 | 児童虐待への対応 | 担当課 | 子育て支援課 |

| 【Plan】計画 | | | | 【Do】実施 | 【Check】評価 | |
|-------------|--|---|----------|--------|------------------------|---------|
| 目的 | 何を（誰を）どのような状態にしたいのか | 区役所の「子ども・家庭相談コーナー」では、家庭と子どもに関するあらゆる相談に応じ、母子家庭の自立支援、DV被害者対応、児童虐待対応等、それぞれの相談に応じた支援・対応を行うとともに、必要に応じて他の機関のサービス・支援へとつなぎます。 | | | 活動実績 活動結果は下記のとおりです。 | |
| 活動計画 | 家庭と子どもに関するあらゆる相談に応じ、母子家庭の自立支援、DV被害者対応、児童虐待対応等、それぞれの相談に応じた支援・対応を行うとともに、必要に応じて他の機関のサービス・支援へとつなげ、総合的な相談窓口としての役割を担います。 | | | | | |
| 活動指標 | 指標（数値化できない場合は、活動内容を文章で記載） （上段：指標名 下段：指標の考え方） | | 前年度実績 | 目標 | 実績（達成率） | 【活動の状況】 |
| | 相談件数 | | 81,703 件 | - | 76,648 件 | 大変順調 |
| | 各区の子ども・家庭相談コーナーにおいて、子ども・家庭相談員等が、来所、電話、訪問、手紙など、様々な形態による相談に応じています。その相談件数を活動指標としました。 （最終目標と最終年度） | | | | | |
| （最終目標と最終年度） | | | | | 順調 やや遅れ 遅れ | 順調 |

| 【Check】評価(分析) | | | |
|---------------|----------------|---|---|
| 分析及び課題の整理 | 【活動の状況】を踏まえた分析 | 活動は予定通りだったのか、活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。 | 子どもと家庭に関するあらゆる相談に応じ、それぞれの内容に応じた支援・対応を行い、相談者の不安や負担感の軽減を図るとともに、関係機関との連携により一定の成果をあげており、事業の適切な運営がなされています。 |
| | 「経済性」「効率性」の分析 | 「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。 | 事業の実施にあたり、計画的な研修を通じ相談員の資質向上を図るなど効率的な運営をしています。 |

| 【Action】 目的実現のために平成24年度以降に実施すること |
|--|
| 子どもと家庭に関するあらゆる相談に対応するため、今後も現状のまま事業を進めます。 |

「元気発進！子どもプラン」事業評価票（平成23年度実績評価）

| | | | | | | | | | |
|-----|-----------------------|-----------|----|-----------|----|------|---------------------|-----|--------|
| 事業名 | 生後4か月までの乳児家庭全戸訪問事業の充実 | | | | | | 掲載ページ | | |
| | | | | | | | 161 | | |
| コスト | 事業費 | 平成23年度執行額 | | 平成24年度予算額 | | 政策分野 | 特別な支援を要する子どもや家庭への支援 | 担当局 | 子ども家庭局 |
| | | 43,979 | 千円 | 46,339 | 千円 | 施策名 | 児童虐待への対応 | 担当課 | 子育て支援課 |

| 【Plan】計画 | | | | 【Do】実施 | | 【Check】評価 | |
|-------------|--|---|---------|--------|---------|---------------|------------------------|
| 目的 | 何を(誰を)どのような状態にしたいのか | 生後4か月までの乳児がいる家庭を訪問し、子育ての孤立化を防ぐために、様々な不安や悩みを聞き、子育て支援に関する必要な情報提供を行うとともに、支援が必要な家庭に対しては適切なサービス提供に結びつけることにより、地域のなかで子どもが健やかに育成できる環境整備を図ります。 | | | 活動実績 | 活動結果は下記のとおりです | |
| 活動計画 | 訪問を継続実施し、訪問担当者に対する研修会を行うなど、事業の充実を図ります。訪問等で直接面接して情報を提供します。 | | | | | | |
| 活動指標 | 指標(数値化できない場合は、活動内容を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の考え方) | | 前年度実績 | 目標 | 実績(達成率) | 【活動の状況】 | |
| | 専門職による訪問数 | | 5,685 件 | 適切な訪問 | 5,855 件 | 大変順調 | 活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック |
| | 全戸訪問により母体の健康保持および胎児の健やかな発育を促すためには、専門職の訪問が必要なため指標に上げました。 (最終目標と最終年度) | | | | | | |
| | (最終目標と最終年度) | | | | | 順調 | 順調 |
| (最終目標と最終年度) | | | | | やや遅れ | | |
| (最終目標と最終年度) | | | | | 遅れ | | |

| 【Check】評価(分析) | | | |
|---------------|----------------|--|--|
| 分析及び課題の整理 | 【活動の状況】を踏まえた分析 | 活動は予定通りだったのか、活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。 | 対象家庭に訪問した結果、81%は実際に面接できており、面接できなかった家庭に対しても、その後の乳児健診において支援を行っています。子育ての孤立化を防ぎ、地域での見守り体制を充実していくために、今後も事業を継続します。 |
| | 「経済性」「効率性」の分析 | 「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を」得られないか、また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。 | 地域の主任児童委員や専門職が実施しているため、これ以上のコスト削減は困難です。 |

| 【Action】 目的実現のために平成24年度以降に実施すること |
|---|
| 対象家庭に訪問した結果、81%は実際に面接できており、面接できなかった家庭に対しても、その後の乳児健診において支援を行っています。子育ての孤立化を防ぎ、地域での見守り体制を充実していくために、今後も事業を継続します。今後も関係機関と連携し、事業を周知することおよび介入することで、より効果的な事業の推進を図ります。 |

「元気発進！子どもプラン」事業評価票（平成23年度実績評価）

| | | | | | | | | | |
|-----|------------|-----------|----|-----------|----|------|---------------------|-----|--------|
| 事業名 | 保育カウンセラー事業 | | | | | | 掲載ページ | | |
| | | | | | | | 161 | | |
| コスト | 事業費 | 平成23年度執行額 | | 平成24年度予算額 | | 政策分野 | 特別な支援を要する子どもや家庭への支援 | 担当局 | 子ども家庭局 |
| | | 1,426 | 千円 | 1,584 | 千円 | 施策名 | 児童虐待への対応 | 担当課 | 保育課 |

| 【Plan】計画 | | | | 【Do】実施 | | 【Check】評価 | |
|-------------|--|--|---------|------------|----------------|------------------------|--|
| 目的 | 何を(誰を)どのような状態にしたいのか | 臨床心理士と保育課保育士が保育所を訪問し、児童虐待の疑い、養育困難など処遇の困難なケースの対応について、保育所の相談に応じ、子どものケアなどの必要な指導を行います。また、緊急の案件が生じた際に、迅速に保育所に出向き、児童、保護者、保育士等の心のケアを行います。 | | 活動実績 | 活動結果は下記のとおりです。 | | |
| 活動計画 | 臨床心理士と保育課保育士が保育所を訪問し、児童虐待の疑い、養育困難など処遇の困難なケースの対応について、保育所の相談に応じて、助言、指導などを行います。また、緊急の案件が生じた際に、迅速に保育所に出向き、児童、保護者、保育士等の心のケアを行います。 | | | | | | |
| 活動指標 | 指標 (数値化できない場合は、活動内容を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の考え方) | 前年度実績 | 目標 | 実績 (達成率) | 【活動の状況】 | | |
| | 臨床心理士と保育課保育士による保育所訪問等、保育所への対応の回数 | 93 回 | 100 回程度 | 99 回 | 大変順調 | 活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック | |
| | 臨床心理士と保育課保育士が保育所を訪問し、虐待等の疑われる子どもの観察・指導・保育所職員のカウンセリング等を実施することが保育所の質の向上になるので指標とあげました。 (最終目標と最終年度) | | | 99.0 % | | | |
| | | | | | 順調 | 順調 | |
| (最終目標と最終年度) | | | | やや遅れ 遅れ | | | |

| 【Check】評価(分析) | | | |
|---------------|----------------|--|---|
| 分析及び課題の整理 | 【活動の状況】を踏まえた分析 | 活動は予定通りだったのか、活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。 | 虐待が疑われる子どもの指導や、その保護者に対応する保育所職員等のカウンセリング等を行うことは、保育所に対する専門的な支援であり、保育の質の向上になります。今年度は、虐待の疑われる子どもやその保護者に関わる保育所(50か所)を訪問しました。また、訪問して一定期間後に電話連絡等のフォロー(47か所)を行い、継続した支援を行いました。 |
| | 「経済性」「効率性」の分析 | 「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を」得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。 | 保育カウンセラーの賃金は子ども総合センターの臨床心理士報酬費に基づき、金額を設定しています。カウンセリング等の専門的指導をする上で、これ以上のコスト削減は困難と考えます。 |

| 【Action】 目的実現のために平成24年度以降に実施すること |
|--|
| 特に重大な子どもの虐待事例等を抱える保育所については優先的に継続して支援していきます。また、保育所が抱えている気になる子どもたちへの対応も支援していきます。 |

「元気発進！子どもプラン」事業評価票（平成23年度実績評価）

| | | | | | | | | | |
|-----|-----------------------------------|-----------|----|-----------|----|------|---------------------|-----|-----------|
| 事業名 | 虐待の早期発見・迅速かつ適切な対応及び児童への支援のための連携強化 | | | | | | 掲載ページ | | |
| | | | | | | | 161 | | |
| コスト | 事業費 | 平成23年度執行額 | | 平成24年度予算額 | | 政策分野 | 特別な支援を要する子どもや家庭への支援 | 担当局 | 子ども家庭局 |
| | | 17,860 | 千円 | 17,563 | 千円 | 施策名 | 児童虐待への対応 | 担当課 | 子ども総合センター |

| 【Plan】計画 | | | | 【Do】実施 | | 【Check】評価 | |
|---|---|---|-------|--------|------------------|---|------------------------|
| 目的 | 何を（誰を）どのような状態にしたいのか | 児童虐待は子どもに対する最大の人権侵害です。児童虐待の発生予防、早期発見、早期対応及び適切な支援を行うため、関係各機関との連携を図ります。 | | | 活動実績 | 【児童虐待相談対応件数】 平成23年度実績 322件 （前年度実績 308件） ・毎月法律相談を実施しました。 ・児童虐待防止推進月間（11月）に「児童虐待 問題連続講座」を2回実施しました。 ・「児童虐待対応リーダー養成研修」を実施しました。 | |
| 活動計画 | 児童虐待相談対応の強化を図ります。 | | | | | | |
| 活動指標 | 指標（数値化できない場合は、活動内容を文章で記載） （上段：指標名 下段：指標の考え方） | | 前年度実績 | 目標 | | | 【活動の状況】 |
| | 児童虐待問題連続講座への参加者数 | | 248 件 | - | 266 件 | 大変順調 | 活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック |
| | 市民や関係機関職員を対象にした「児童虐待問題連続講座」を1月に開催するので、参加者数を指標として掲げました。 （最終目標と最終年度）減少（26年度） | | | | | | |
| 児童虐待対応リーダー養成研修の参加者数 | | 221 件 | - | 154 件 | 順調 やや遅れ 遅れ | 順調 | |
| 児童虐待の早期対応を図るため、保育所、学校等の職員を対象とした「児童虐待対応リーダー養成研修」を毎年実施しています。毎年対象施設が異なるため、参加者数も変動しますが、指標として掲げました。 （最終目標と最終年度） | | | | | | | |

| 【Check】評価（分析） | | | |
|---------------|----------------|--|--|
| 分析及び課題の整理 | 【活動の状況】を踏まえた分析 | 活動は予定通りだったのか、活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。 | 関係職員の資質向上のため、23年度は保育所を対象とした「児童虐待対応リーダー養成研修」を開催しました。 また、11月の児童虐待防止推進月間に、市民や関係機関職員を対象とした「児童虐待問題連続講座」を開催しました。 児童虐待の問題は、関係する様々な機関が個別に知識や対応能力を向上させるとともに連携し、児童やその家庭等を支援して、問題解決を図っていかねばなりません。現在、関係各機関での研修体制の確立や通告先の明確化、通告後の流れ等も浸透しつつあり、より一層の連携が図られ、児童虐待防止に向け、有効性は高いと考えます。 |
| | 「経済性」「効率性」の分析 | 「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を」得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。 | 児童虐待対応は、子どもの安全が最優先であり、法的にも、区や児童相談所がマネジメントの主体とならざるを得ません。 また、児童虐待に関する研修や啓発については、専門的な知識や経験が必要で、学識経験者等による講義に加え、一部研修では経験を積んだ職員が講師を行うなど、効率的に実施しています。 |

| 【Action】 目的実現のために平成24年度以降に実施すること |
|---|
| 本事業は、施策に対する有効性も高く、特別な支援を要する子育て家庭への対応を図っていくうえで、重要な事業の一つであると考えています。今後も目標の達成に向け、着実な取り組みを進めていくことで、関係機関の虐待に対する専門性と連携の充実を図ります。 平成24年度は、小中学校、幼稚園等を対象とした、「児童虐待対応リーダー」を養成する研修を開催するとともに、11月の児童虐待防止推進月間に「児童虐待問題連続講座」を開催します。また、児童虐待について、関係機関と連携を図りながら、発生予防、早期発見に努め、迅速かつ適切に対応します。 |

「元気発進！子どもプラン」事業評価票（平成23年度実績評価）

| | | | | | | | | |
|-----|----------------------|-----------|----|-----------|----|------|---------------------|--------|
| 事業名 | 乳幼児健康診査未受診者フォローアップ事業 | | | | | | | 掲載ページ |
| | | | | | | | | 162 |
| コスト | 事業費 | 平成23年度執行額 | | 平成24年度予算額 | | 政策分野 | 特別な支援を要する子どもや家庭への支援 | 担当局 |
| | | 26,262 | 千円 | 28,117 | 千円 | 施策名 | 児童虐待への対応 | 担当課 |
| | | | | | | | | 子ども家庭局 |
| | | | | | | | | 子育て支援課 |

| 【Plan】計画 | | | | 【Do】実施 | | 【Check】評価 | |
|-------------|---|---|-------|---------|---------|------------------------|--|
| 目的 | 何を（誰を）どのような状態にしたいのか | 虐待につながりやすい状況を早期に把握し予防するため、乳幼児健康診査未受診者に対して、家庭訪問を実施し、受診勧奨するとともに、養育に関する相談に応じます。また、妊婦や乳幼児の健康診査をデータ管理し、受診結果に応じて保健指導を行ないます。 | | | 活動実績 | 活動結果は下記のとおりです。 | |
| 活動計画 | 事業の継続実施 | | | | | | |
| 活動指標 | 指標（数値化できない場合は、活動内容を文章で記載） （上段：指標名 下段：指標の考え方） | 前年度実績 | 目標 | 実績（達成率） | 【活動の状況】 | | |
| | 家庭訪問件数 | 379 件 | 適切な訪問 | 342 件 | 大変順調 | 活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック | |
| | 虐待を予防するために、4か月・1歳6か月児健康診査未受診者に対して家庭訪問し、状況を確認することは必要です。 （最終目標と最終年度） | | | | | | |
| | | | | | 順調 | 順調 | |
| （最終目標と最終年度） | | | | やや遅れ | | | |
| | | | | | 遅れ | | |

| 【Check】評価(分析) | | | |
|---------------|----------------|--|--|
| 分析及び課題の整理 | 【活動の状況】を踏まえた分析 | 活動は予定通りだったのか、活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。 | 4か月児と1歳6か月児健康診査の未受診者に対して、受診勧奨のはがきを送付するとともに、訪問等により子どもの成長発達や育児不安等の相談に応じています。 健診受診を勧奨することは、乳幼児の健康保持や虐待を早期に発見するために重要です。また、乳幼児健診の未受診者は、様々な問題を抱えていることがあるため、受診勧奨し、支援することは必要です。 |
| | 「経済性」「効率性」の分析 | 「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を」得られないか、また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。 | 関係機関と協議して実施しているため、これ以上のコスト削減は困難です。 |

| 【Action】 目的実現のために平成24年度以降に実施すること |
|--|
| 乳幼児健康診査の未受診者に対して、受診勧奨し家庭訪問等の支援を行なうことで、育児不安の軽減や孤立化の防止に繋がっています。児童虐待予防のために、事業の充実を図りながら継続していきます。 また、健診情報のデータ管理を確実にし、未受診者の確実な把握を行ないます。 |

「元気発進！子どもプラン」事業評価票（平成23年度実績評価）

| | | | | | | | | | |
|-----|--------------|-----------|----|-----------|----|------|---------------------|-----|-----------|
| 事業名 | 子ども総合センターの運営 | | | | | | 掲載ページ | | |
| | | | | | | | 162 | | |
| コスト | 事業費 | 平成23年度執行額 | | 平成24年度予算額 | | 政策分野 | 特別な支援を要する子どもや家庭への支援 | 担当局 | 子ども家庭局 |
| | | 129,132 | 千円 | 94,534 | 千円 | 施策名 | 児童虐待への対応 | 担当課 | 子ども総合センター |

| 【Plan】計画 | | | | 【Do】実施 | | 【Check】評価 | |
|-------------|---|--|----|---------|---------|------------------------|----------------|
| 目的 | 何を(誰を)どのような状態にしたのか | 子どもに関するあらゆる相談、指導、心理・障害の判定、一時保護等を行うとともに、児童虐待、非行、不登校など立ち直り支援が必要な子どもに対応するため、関係機関と連携し、子どもや保護者への支援するなど、法に基づく児童福祉の専門的行政機関として運営します。 | | | | 活動実績 | 活動結果は下記のとおりです。 |
| 活動計画 | 子どもや保護者など相談者に適切な支援等を行うなど、児童福祉の専門的行政機関としての着実な取組みを進めていきます。 | | | | | | |
| 活動指標 | 指標(数値化できない場合は、活動内容を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の考え方) | 前年度実績 | 目標 | 実績(達成率) | 【活動の状況】 | | |
| | 児童相談受付件数 | 4,683 件 | - | 4,628 件 | 大変順調 | 活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック | |
| | 児童に関するあらゆる問題について、相談に応じる機関としての活動を最も端的に示す指標として掲げました。 (最終目標と最終年度) | | | | | | |
| | | | | | 順調 | 順調 | |
| (最終目標と最終年度) | | | | やや遅れ | | | |
| | | | | 遅れ | | | |

| 【Check】評価(分析) | | | |
|---------------|----------------|--|--|
| 分析及び課題の整理 | 【活動の状況】を踏まえた分析 | 活動は予定通りだったのか、活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。 | 児童相談受付件数は、前年度並みに推移しており、相談者に適切な対応が行えています。児童に関するあらゆる相談に応じるとともに、児童及び保護者等を支援する活動を推進しており、有効性は高いと考えます。 |
| | 「経済性」「効率性」の分析 | 「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を」得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。 | 最小の経費で最大の効果を挙げるべく、計画的かつ効率的な予算執行に努めて、運営しています。 |

| 【Action】 目的実現のために平成24年度以降に実施すること |
|---|
| <p>子ども総合センター(児童相談所)は、児童福祉法で政令指定都市に設置が義務付けられた機関です。本事業は施策に対する有効性も高く、児童に関するあらゆる相談への適切な対応を図っていくうえにおいて、今後も着実な取組みを進めていくことが必要だと考えています。</p> <p>今後も児童福祉の専門的行政機関として、本事業を様々な関係機関と連携しながら、より効果的、効率的に推進し、子どもや保護者など相談者に適切な支援等が行えるよう着実な取組みを進めていきます。</p> |

「元気発進！子どもプラン」事業評価票（平成23年度実績評価）

| | | | | | | | | | |
|-----|---------------------|-----------|----|-----------|----|------|---------------------|-----|-----------|
| 事業名 | 家族のためのペアレントトレーニング事業 | | | | | | 掲載ページ | | |
| | | | | | | | 162 | | |
| コスト | 事業費 | 平成23年度執行額 | | 平成24年度予算額 | | 政策分野 | 特別な支援を要する子どもや家庭への支援 | 担当局 | 子ども家庭局 |
| | | 1,917 | 千円 | 2,537 | 千円 | 施策名 | 児童虐待への対応 | 担当課 | 子ども総合センター |

| 【Plan】計画 | | | | 【Do】実施 | | 【Check】評価 | |
|--|---|--|-------|--------|---------|-----------|------------------|
| 目的 | 何を(誰を)どのような状態にしたいのか | 虐待を行った保護者や養育不安のある保護者に対して、適切なカウンセリングを行いながら、児童に対する養育技術や家庭環境の整備に関する訓練を行うことを通して、虐待の未然防止、再発防止等を図るため、取り組んでいます。 | | | | 活動実績 | 活動結果は下記のとおりです。 |
| 活動計画 | 対象家族への支援を継続して行います。 | | | | | | |
| 活動指標 | 指標(数値化できない場合は、活動内容を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の考え方) | | 前年度実績 | 目標 | 実績(達成率) | 【活動の状況】 | |
| | 参加家族数(養育不安コース) | | 17 件 | 20 件 | 18 件 | 90.0 % | 大変順調 |
| | プログラム等への参加家族数の増加が、養育技術習得や養育不安の軽減に直結することから、活動指標として掲げました。 (最終目標と最終年度)平成26年度 20家族 | | | | | | |
| | 参加家族数(家族再統合コース) | | 16 件 | 20 件 | 18 件 | 90.0 % | 順調 やや遅れ 遅れ |
| プログラム等への参加家族数の増加が、親子関係の改善や家庭環境の整備に直結することから、活動指標として掲げました。 (最終目標と最終年度)平成26年度 20家族 | | | | | | | |

| 【Check】評価(分析) | | | |
|---------------|----------------|--|---|
| 分析及び課題の整理 | 【活動の状況】を踏まえた分析 | 活動は予定通りだったのか、活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。 | 虐待を行った保護者向け「家族再統合コース」(18家族)と養育不安を持つ保護者向け「養育不安コース」(18家族)を実施しました。虐待を行った保護者や養育不安のある保護者に対して、本事業を通じて、児童に対する養育技術や家庭環境の整備に関する訓練を行い、特別な支援を要する子どもや家庭への支援を図るうえにおいて、有効性は高いと考えています。 |
| | 「経済性」「効率性」の分析 | 「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を」得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。 | 最小の経費で最大の効果を挙げるべく、計画的かつ効率的な予算執行に努めて、運営しています。 |

| 【Action】 目的実現のために平成24年度以降に実施すること |
|---|
| 本事業は、施策に対する有効性も高く、特別な支援を要する子どもや家庭を支える上で、重要な事業の一であると考えています。今後も目標の達成に向け、着実な取り組みを進めていくとともに、より多くの方に本事業に参加するよう努力する必要があると考えています。関係機関への周知を行うとともに、適用ケースの見極めや区役所におけるニーズの掘り起こしを進めていきます。 |

「元気発進！子どもプラン」事業評価票（平成23年度実績評価）

| | | | | | | | | | |
|-----|--------------|-----------|----|-----------|----|------|---------------------|-----|-----------|
| 事業名 | メンタルフレンド派遣事業 | | | | | | 掲載ページ | | |
| | | | | | | | 162 | | |
| コスト | 事業費 | 平成23年度執行額 | | 平成24年度予算額 | | 政策分野 | 特別な支援を要する子どもや家庭への支援 | 担当局 | 子ども家庭局 |
| | | 637 | 千円 | 1,453 | 千円 | 施策名 | 児童虐待への対応 | 担当課 | 子ども総合センター |

| 【Plan】計画 | | | | 【Do】実施 | | 【Check】評価 | |
|-------------|---|---|----|---------|------|------------------------|------|
| 目的 | 何を(誰を)どのような状態にしたのか | メンタルフレンドをひきこもり児童等の家庭等に派遣し、児童の心の健康を回復させるとともに、対人関係の向上や生活リズムの改善などを目指します。また、被虐待児の家庭を訪問し、児童の心理的サポートや、児童とその家庭を経過観察を行い、虐待の再発防止や早期発見を目指します。 | | | 活動実績 | 活動結果は下記のとおりです。 | |
| 活動計画 | | | | | | | |
| 活動指標 | 指標(数値化できない場合は、活動内容を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の考え方) | 前年度実績 | 目標 | 実績(達成率) | | 【活動の状況】 | |
| | メンタルフレンド派遣実績 | 76 件 | - | 62 件 | 大変順調 | 活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック | |
| | メンタルフレンドの派遣件数の増加が、児童の心の健康回復や生活リズムの改善等に寄与することから、活動指標として掲げました。 (最終目標と最終年度) | | | | | 順調 | やや遅れ |
| | (最終目標と最終年度) | | | | やや遅れ | | |
| (最終目標と最終年度) | | | | 遅れ | | | |

| 【Check】評価(分析) | | | |
|---------------|----------------|--|---|
| 分析及び課題の整理 | 【活動の状況】を踏まえた分析 | 活動は予定通りだったのか、活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。 | メンタルフレンドの募集を二度行うなどメンタルフレンドの確保につとめました。被虐待・ひきこもり等の児童に対して、一定の研修を積んだ資質と意欲のあるメンタルフレンドを派遣することで当該児童とのふれあいを通じて、心の健康改善や家庭環境の再構築を支援することができ、有効性は高いと考えます。 |
| | 「経済性」「効率性」の分析 | 「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を」得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。 | 最小の経費で最大の効果をあげるべく、計画的かつ効率的な予算執行に努めて、運営しています。 |

| 【Action】 目的実現のために平成24年度以降に実施すること |
|--|
| <p>本事業は施策に対する有効性も高く、青少年の健全育成を図るうえにおいて、今後も着実な取組みを進めていくことが必要だと考えています。利用実績が低迷している状況のなか、職員への周知を重ねるとともに利用が適切と思われる児童の担当者への打診をおこなうことで利用促進を図ります。また、様々なニーズに対応できるようメンタルフレンドの確保に努め、その充実を図ります。</p> |

「元気発進！子どもプラン」事業評価票（平成23年度実績評価）

| | | | | | | | | | |
|-----|----------------|-----------|----|-----------|----|------|---------------------|-----|-----------|
| 事業名 | ひきこもり児童宿泊等指導事業 | | | | | | 掲載ページ | | |
| | | | | | | | 162 | | |
| コスト | 事業費 | 平成23年度執行額 | | 平成24年度予算額 | | 政策分野 | 特別な支援を要する子どもや家庭への支援 | 担当局 | 子ども家庭局 |
| | | 2,634 | 千円 | 1,866 | 千円 | 施策名 | 児童虐待への対応 | 担当課 | 子ども総合センター |

| 【Plan】計画 | | | | 【Do】実施 | | 【Check】評価 | | |
|-------------|---|---|-------|--------|---------|------------------------|---|----|
| 目的 | 何を(誰を)どのような状態にしたのか | 不登校やひきこもり状態にある児童を対象に、通所による陶芸教室や青少年自然の家での宿泊プログラム等を実施し、社会適応力、対人関係能力、精神的安定及びストレスの解消等を図ります。 | | | | 活動実績 | 陶芸教室については毎月1回、年間で12回実施しました。一方、前年度まで、5少年支援室が合同で年間2回実施していたバスを利用した合同事業をやめ、各少年支援室独自で2回ずつ、計10回のバス利用行事としました。また、バスを利用しない活動21回もカウントするようにしたため、実施回数が増加しました。以前と比較して、コミュニケーション能力を向上させる機会がより増えました。 | |
| 活動計画 | 不登校児童等を対象にした体験型教室を実施します。 | | | | | | | |
| 活動指標 | 指標(数値化できない場合は、活動内容を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の考え方) | | 前年度実績 | 目標 | 実績(達成率) | 【活動の状況】 | | |
| | 事業実施回数 | | 14 回 | - | 43 回 | 活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック | | |
| | 本事業は、児童に社会適応力を身につけさせるため、陶芸教室や宿泊体験プログラム等の中で、職員がマンツーマンで接し、行動観察を行い指導・援助を行うもので、事業の実施回数が事業目的に直結することから、活動指標として掲げました。 (最終目標と最終年度) | | | | | 大変順調 | | 順調 |
| | | | | | 順調 | | | |
| (最終目標と最終年度) | | | | やや遅れ | | | | |
| | | | | 遅れ | | 順調 | | |

| 【Check】評価(分析) | | | |
|---------------|----------------|--|---|
| 分析及び課題の整理 | 【活動の状況】を踏まえた分析 | 活動は予定通りだったのか、活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。 | 今年度は、陶芸教室、集団活動宿泊体験プログラム等、合わせて15回実施し、不登校やひきこもり、非行や発達障害等の児童に対して、社会適応力や対人関係能力等の向上に努めました。有効性は高いと考えます。 |
| | 「経済性」「効率性」の分析 | 「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を」得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。 | 最小の経費で最大の効果を上げるべく、計画的かつ効率的な予算執行に努めています。 |

| 【Action】 目的実現のために平成24年度以降に実施すること |
|--|
| <p>本事業は、施策に対する有効性も高く、不登校児童対策や非行等の児童のスキル向上の場として、重要な事業です。今後も目標の達成に向けて、着実な取り組みを進めていくことが重要です。</p> <p>非行や不登校、発達障害児の増加に伴い、学校だけでは対応できない児童生徒のスキル向上の場として社会適応力を身につけさせるとともに、その家族支援も継続して実施します。</p> |